



土曜日には図書館フレンズが書架を整理

図書館フレンズ

中学・高校生のボランティア

本年度から始まった学校週五日制に対応して、市内に在住・在学する中学・高校生のボランティア「図書館フレンズ」制度

がスタートしました。活動は六月からで、来年三月まで一人が月二回程度、希望する土曜日に市立図書館でボラン

進学後も続けたい

新聞で図書館フレンズのことを知りました。ボランティア活動がしたかったので、す



高橋彩香さん
本町二丁目・15歳

ぐに応募。参加できるという連絡があったときは、とってもちれなかったです。図書館には、想像以上にいろいろな本がありました。本を探す利用者のお手伝いが、早くできるようにになりたいな。今年は高校受験なので勉強も大変だけれど、できるだけ参加するつもりです。友達もたくさんできたし、高校生になっても続けたいです。

ティア活動を行います。

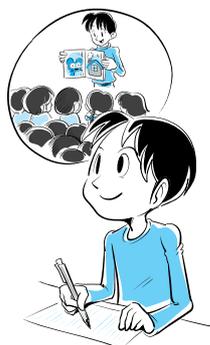
希望した五十七人の中学・高校生は、活動に先駆けて「事前研修会」に参加。図書館の役割と仕事の内容を学習し、利用者との接し方、書架整理の実習などを行いました。

図書館フレンズは、十月までの土曜三十六日間で、延べ二百二十六人が参加。平均で六人が市立図書館で活動したことになります。現在は書架の整理が中心ですが、今後は図書館の利用案内や幼児への読み聞かせなど、活動の範囲を広げていく予定です。

目的意識あり好印象

参加者には毎回、感想文を書いてもらっています。

活動が始まってしばらくは緊張した「疲れた」などの素直な



感想が多数でした。

しかし、回を重ねるうちに利用者の質問に対して正確に伝えられなかった「もっと早い対応ができるようになりたい」などの反省や、「小さな子どもに読み聞かせをやってみたい」などの意見が増加。中学・高校生が、自分なりに目的意識を持ちながら活動を行い、社会勉強していることが感じられます。

中学・高校生が真剣に、そして楽しく活動をしている土曜日の市立図書館は活気があり、利用者にも好印象を与えているようです。